



1 所長あいさつ

年頭のごあいさつ

大分産業保健推進センター 所長 三角 順一



読者の皆様には健やかに新春を迎えられたこととお慶びを申し上げます

旧年中は、当大分産業保健推進センターの事業の運営に当たりましては、多大なるご支援・ご協力を賜わり誠に有難うございました。

私たちを取り巻く環境は、なお、厳しい状況に置かれておりますが、本年も昨年同様ご指導・ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年は、卯の年ですが、ものの本によると卯年の卯は「冒」(ぼう)と読み「おおう」の意で、草木が地面を蔽うようになった状態を表しているとされています。卯の刻は夜明けの6時を中心とする約2時間であることはよく知られております。このことは、新しい時代の夜明けを意味しているように思えます。卯の方は東の方角です。東から昇る今年の太陽は、兎の眼のように見えたに違いありません。そして同時に今年の干支は、私たちに夢と希望とやる気を与えてくれそうな予感がします。

寅年は木の芽が勢よく伸び始める年とされ、卯年はその芽が若葉となり成長して行く年であると言われております。卯の字は、茂(ぼう)と言う字からきているという説もあり、茂の字は「しげる、又はぼう」と読まれます。若葉が生い茂ると言うことから成長発展を意味するのだそうです。沢山の枝葉が伸びることから、競争が激しくなるとも言われているようですが、新たな活力につながることも考えられます。新しいことに挑

戦したり、やっかいな問題については、区切りをつけて心機一転頑張るのに適した年であるとも言えます。

また、卯(兎)は平和や豊かさを象徴しているそうです。あいつぶらな瞳は、優しさや寛大さを意味しているようにも思えます。私たちは、自らの心・言葉・行動を律し、円満な人間関係を築くよう心がけていきたいものです。

人間は一人で生きて行くことはできませんし、皆の支え合いなしには安らかな気持ちや満足を得ることも出来ません。周りからの温かい理解や物心両面の支えがあってこそ、困難を乗り越え、物事を成し遂げることが出来ます。

今年は、自らの心の平安や豊かな人間関係の構築を意識してより良い職場、よりよい家庭を作るようぴよんぴよんと歩を進めて行きましょう。

きっと総てに於いて、より新しい展開が開けて来るに違いありません。

職員一同微力ながら、全力でお手伝いをさせて頂きたく決意を新たにしております。

皆さまのご健勝と益々のご発展を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2 相談員の窓

職場と HIV/AIDS

基幹相談員 細川 隆文



2010年11月29日のエイズ動向委員会の平成22年第3四半期の報告では、新規HIV感染者報告数は257件(前回報告263件、前年同時期249件)で、過去9位、新規AIDS患者報告数は111件(前回報告129件、前年同時期96件)で、過去7位でありました。新規AIDS患者数は過去最高であった前回報告件数を下回るものの、新規HIV感染者、新規AIDS患者数は前年同時期を上回っており、依然増加傾向を示しています。HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数に占めるAIDS患者の割合は約3割と継続して非常に高い状態です。日本は唯一、先進国の中でHIV感染者が増加して居る反面、この問題に関心が薄れているようであり、注意を喚起する必要があります。

HIV感染症とエイズ(AIDS)

エイズとは後天性免疫不全症候群の略称であり、HIVに感染後、HIV感染症が進行して免疫不全状態を来し、HIV合併症を認めた状態であります。HIV感染症とエイズは同じではありません。HIVは異性間、同性間性的接触、HIV感染血液、注射器を介し、また母子感染等により侵入したウイルスがリンパ球(CD4)に結合し、増殖し、遂にはエイズを発症します。急性感染期(感染後1~3カ月)、無症候性キャリア期(数年から10数年)、AIDS関連症候群期を経てAIDS期に至ります。HIVに対する治療はHAARTと呼ばれる治療法が普及したため、以前の不治の病から延命効果を著しく改善させました。治療開始時期はCD4の数を基準に設定されています。不運にして感染機会を持った場合は、感染の有無を知るため、先ず医師に相談することが大切です。

職場での取り組みの重要性

職場で働く人々はHIV感染の機会が多い年齢層であり、また患者および感染者の9割が20から50歳代で働き盛りの人々であること、感染しても無症候期が長いこと、10年程度は健康な人と同様に働くことが可能であり、サポート体制を整えれば人材を失わなくて済むこと、職場での予防啓発により、家族、子供へのその認識が伝わる効果が大であること、その取り組みにより感染者を減らせれば感染後、死亡に至るまでの医療費は一人につき1500万円以上と言われており、医療費の節約効果が大きいことが挙げられ、職場での取り組みは重要であります。

職場での予防対策

HIVはインフルエンザの様に感染力は強くなく、偏見や過剰反応をしないように予防知識を教育し、感染者に不当な差別をしないためにも個人の健康情報の秘密保持の徹底が必要であります。

3 研修案内 (1月～ 3月)

※どの研修も、どなたでもお受けいただけます。
電話、FAX, Eメールでお申込みください。

産業医研修	産業保健セミナー		
「職場とHIV/AIDS」 日時:23. 1. 18(火)18:30～20:30 会場:① 講師:基幹相談員 細川 隆文	「ストレスと健康」 日時:23. 1. 20(木)14:00～16:00 会場:⑤ 講師:センター所長 三角 順一		
「職場における新型(鳥)インフルエンザ対策」 日時:23. 2. 24(木)18:30～20:30 会場:① 講師:基幹相談員 明石 光伸	カウンセリング研修		
「局所排気装置」の基礎知識 ーフード形状の違いによる効果の確認ー 日時:23. 2. 25(金)18:30～20:30 会場:③ 講師:基幹相談員 田口 信康	「事例検討(うつ病)」 日時:23. 1. 11(火)18:30～20:30 会場:① 講師:基幹相談員 渡嘉敷 新典		
衛生管理者等研修	「積極的傾聴のグループワーク」 日時:23. 2. 8(火)18:30～20:30 会場:① 基幹相談員 渡嘉敷 新典 特別相談員 佐用 槇子		
「自殺予防と事後対策」 日時:23. 1. 25(火)14:00～16:00 会場:① 講師:特別相談員 影山 隆之	「事例検討(アルコール依存症)」 日時:23. 3. 8(火)18:30～20:30 会場:① 講師:基幹相談員 渡嘉敷 新典		
「化学物質による健康障害の予防と対策」 日時:23. 2. 4(金)14:00～16:00 会場:① 講師:センター所長 三角 順一	AED(自動体外式除細動器)体験研修		
「粉じん職場の作業環境の現況と健康管理」 日時:23. 2. 18(金)14:00～16:00 会場:① 講師:基幹相談員 青野 裕士	「AED体験研修」 ～大切な命を救うために あなたにもできることがあります。～ 日時:23. 2. 8(火)14:00～16:00 会場:① 講師:特別相談員 油布 文枝		
「職場における新型(鳥)インフルエンザ対策」 日時:23. 3. 10(木)14:00～16:00 会場:① 講師:基幹相談員 明石 光伸	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">会 場</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ① 大分産業保健推進センター ② 別府市医師会 ③ 中津市医師会 ④ 佐伯市医師会 ⑤ 日田市医師会 ⑥ 豊後大野市医師会 ⑦ アイネス 大会議室 </td> </tr> </table>	会 場	<ul style="list-style-type: none"> ① 大分産業保健推進センター ② 別府市医師会 ③ 中津市医師会 ④ 佐伯市医師会 ⑤ 日田市医師会 ⑥ 豊後大野市医師会 ⑦ アイネス 大会議室
会 場		<ul style="list-style-type: none"> ① 大分産業保健推進センター ② 別府市医師会 ③ 中津市医師会 ④ 佐伯市医師会 ⑤ 日田市医師会 ⑥ 豊後大野市医師会 ⑦ アイネス 大会議室 	
全職種対象研修			
「人間関係の改善のためにⅡ ～他人との係わり・私はOK、あなたもOK～」 日時:23. 2. 16(水)14:00～16:00 会場:① 講師:基幹相談員 田吹 好美			

4 お知らせ

第2回メンタルヘルスケア事例検討・交流会が開催されました。

平成22年12月3日(金)、大分県労働福祉会館ソレイユにおいて、県下各企業より医師、保健師、看護師及び衛生管理者等110名が参加し、第2回メンタルヘルスケア事例検討・交流会が『円滑な職場復帰支援に向けた事業場のメンタルヘルス対策』をテーマとして開催されました。

主催者挨拶にはじまり、挟間直己 はさまクリニック院長から、『職場復帰支援 主治医の立場から』、藤田長太郎 大分大学保健管理センター教授から、『職場復帰支援 産業医の立場から』、村上寿一 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構大分障害者職業センター主任障害者職業カウンセラーから、『精神障害者総合雇用支援について』と題して、事例発表があり、その後、事例発表者との意見交換が行われました。



独立行政法人 労働者健康福祉機構



大分産業保健推進センター

〒870-0046

大分市荷揚町3番1号 第百・みらい信金ビル7F

TEL097-573-8070

FAX097-573-8074

ホームページ <http://www.oita-sanpo.jp/>

Eメール info@oita-sanpo.jp

★写真★ (大分県玖珠郡九重町) 写真撮影/大分産業保健推進センター 岩崎 泰三

発行者 独立行政法人 労働者健康福祉機構 大分産業保健推進センター 所長 三角 順一